

## 仙台市無電柱化推進計画【基本方針】（中間案）に関するご意見と本市の考え方

No	ご意見の概要	ご意見に対する本市の考え方
<b>全体に関する意見</b>		
1	無電柱化は市民や観光客に好印象を与える歓迎すべき施策である。長期間に渡る工事であり費用も掛かるが、着実に実施してほしい。	「防災性の向上」、「安全で快適な歩行空間の確保」、「都市景観の向上と観光振興」の3つの基本的な考え方のもと、実施にあたっては多様な手法の活用によるコスト縮減なども勘案しながら、無電柱化を推進します。
2	無電柱化を推進するという基本方針に異議はない。街並み景観の向上や歩道の安全性・快適性の向上、防災性の向上に効果があるという、計画書に記載のとおりだと思う。	
<b>4（1）基本的な考え方に関する意見</b>		
3	無電柱化の基本的な考え方として挙げられている3つの視点は妥当と考えるが、特に、仙台市はインバウンド観光客を積極的に受入、観光消費額の増大を図るべきと考えており、「都市景観の向上と観光振興」の視点は特に重要と思われる。	本市の観光資源や都市としての魅力を活かしながら、まちに賑わいをもたらす交流促進を図っていくことが重要と考えております。 そのため、都市景観の向上と観光振興の観点から、多くの市民や観光客が集まる仙台駅周辺の幹線道路やアーケード周辺の道路、景観重点区域内における歴史的な風情を持つ街道筋などにおいて、地域のまちづくりの取り組みとの連携が可能な道路の無電柱化を推進していくこととしております。
<b>4（2）優先的に無電柱化していく道路に関する意見</b>		
4	無電柱化の基本的な考え方の3項目については優先的に取り組むべき道路であると思う。 町内会・商店街などの単位で地域住民より無電柱化の要望が高まり、地上機器の設置場所や工事期間中の協力などの合意形成が図られている地域を優先的に整備していくなど、住民要望による無電柱化もご検討いただきたい。	都市景観の向上と観光振興の観点から、多くの市民や観光客が集まる仙台駅周辺の幹線道路やアーケード周辺の道路、景観重点区域内における歴史的な風情を持つ街道筋などにおいて、地域のまちづくりの取り組みとの連携が可能な道路の無電柱化を推進していくこととしております。
5	対象道路は妥当と考えるが、観光客の回遊性という視点で考えると、個別路線ではなく、面的な視点での対象道路を設定する考えも重要だと思われる。	地域のまちづくりの取り組みとの連携の可能性などをふまえ、今後、基本方針に基づく「仙台市無電柱化推進計画」の策定の中で、具体の整備候補路線を検討する際の参考とさせていただきます。

6	<p>一番町一番街商店街では、メインのアーケード街につながる横丁・裏通りにある魅力ある店舗を集め、個性的な街路を生み出し、エリアとしての面的な魅力づくりや賑わい創りを進めていきたいと考えており、来訪者が巡りたくなる歩行空間・街並みづくりが必要と考えている。</p> <p>安全な歩行空間の確保と都市景観の向上のため、一番町一番街の横丁・裏通りのまちづくりを無電柱化と連携して推進したい。</p>	
7	<p>芭蕉の辻まちづくり協議会では、芭蕉の辻・大町の活気あるまちづくりに取り組んでおり、地下鉄東西線開通とあわせ、一番町の賑わいを芭蕉の辻から広瀬川・青葉山へ誘うまちづくりを進めたいと考えている。</p> <p>無電柱化については、仙台市の魅力ある発展のためにも、是非精力的に進めてほしい。本計画は的確に策定されていると考えるが、将来を見据えた計画として、大町通りの無電柱化を優先して取り組んでいただきたい。</p>	<p>都市景観の向上と観光振興の観点から、多くの市民や観光客が集まるアーケード周辺の道路、景観重点地域内における歴史的な風情を持つ街道筋などにおいても、地域のまちづくりの取り組みとの連携が可能な道路の無電柱化を推進していくこととしております。</p> <p>今後、基本方針に基づく「仙台市無電柱化推進計画」の策定の中で、具体の整備候補路線を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
8	<p>平成23年1月の都市計画道路の変更によって対象外となった道路の中には、北仙台荒巻本沢間など、多くの小学生が車のすぐ横を歩いて通学している道路がある。</p> <p>無電柱化は歩道の拡張に準じる効果が期待出来るので、都市計画道路以外の道路（特に歩行者の多い区間）についても考慮してほしい。</p>	<p>通学路の無電柱化については、厳しい財政制約を踏まえ、特に安全で快適な歩行空間の確保が求められる箇所について、計画的かつ効率的に推進する必要があるものと考えていることから、仙台市バリアフリー基本構想で定めた重点整備地区を基本として、学校周辺の通学路などの無電柱化を推進していくこととしております。</p>
9	<p>市民向けに「どういう場所を無電柱化したらいいか」というアンケートを取ると、「普段使う通学路や生活道路」という回答がかなり多くなる。</p> <p>弱者にやさしい街は安心な街だと思うので、例えば、仙台市は通学路を工夫している、などの特色があると良い。</p>	<p>なお、通学路の安全対策については、学校やPTA等関係機関との合同点検により危険箇所を抽出し、学校による児童への交通安全指導を始め、路側帯のカラー化や通学路注意の路面標示などの効果的な対策を関係機関と連携しながら進めております。</p>

10	<p>通過交通が比較的多い幅員 5m 程度の道路では、電柱の乱立により、乗用車同士のすれ違いでさえ困難であり、走行速度が抑制されている箇所がある。そこでは、通学児童は電柱の内側を通行しており、電柱がある箇所では車両と物理的に分離されるため、乱立する電柱によって一定の安全性が確保されていると考えられる。</p> <p>このように、電柱によって安全性が向上していると考えられる区間も存在しているため、整備区間を選定する際にはそのような視点も必要である。</p>	<p>今後、基本方針に基づく「仙台市無電柱化推進計画」の策定の中で、具体の整備候補路線を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
11	<p>今後、無電柱化の優先度等を検討していくにあたり、「電柱が通行を妨げているかどうか」を指標の一つとしてはどうか定量的に評価するために、歩行者通行量調査も実施すると良い。</p>	
<p><b>4 (3) 無電柱化の進め方に関する意見</b></p>		
12	<p>コストの視点から、当然様々な整備手法の検討が必要だと思われるが、電線類地中化方式が、最も効果的な手法と思われるので、基本的にはこの手法を中心に検討していくことが望ましいと思われる。</p>	<p>標準的な無電柱化の手法として電線共同溝方式による地中化を基本とします。なお、整備手法の検討の際には、対象となる路線の状況に応じて低コスト手法の採用等についても検討します。</p>
13	<p>比較幅員の狭い道路で無電柱化を進めていく際は、小型ボックスの活用埋設などの手法を積極的に採用し、計画を推進すべき。</p>	<p>幅員の狭い道路は、道路敷内での必要な設備等の設置スペース確保の観点から無電柱化は困難ですが、今後、具体の整備候補路線を検討した上で、対象となる路線の状況に応じた適切な整備手法を選択していきます。</p>
14	<p>無電柱化を実施した箇所について、埋設物や埋設箇所、設計図面などの情報をGISデータや3次元設計データとして整理し、クラウド上に蓄積して各管理者間で情報を共有する仕組みを作ってはどうか。</p> <p>今後、無電柱化区間を改良する必要がある場合などにおいて、設計や施工の段階でデータを活用することが可能となる。</p>	<p>無電柱化完了区間の管理を行う上で、今後の参考とさせていただきます。</p>

4 (4) 計画期間と目標に関する意見		
15	<p>計画目標に数値を入れた方がよい。現在の無電柱化率とそれをどこまで伸ばすのかなども必要ではないか。さらには無電柱化対象路線も明記した方がよい。</p>	<p>今後、基本方針に基づく「仙台市無電柱化推進計画」の策定の中で、具体的な目標や候補路線についても検討していく予定です。</p>
4 (5) 無電柱化の推進に関する施策に関する意見		
16	<p>例えば「仙台市杜の都景観計画」で指定されている景観重点区域を「無電柱化推進区域」と設定するなどし、この区域内での道路の新設・改築及び開発行為については無電柱化で行うことや、市街化区域においては道路・開発行為共に無電柱化に努めることなどについて、基本方針に盛り込めないか。</p> <p>道路新設改築、開発行為などで一気に電柱が増えており、減らすことも大事だが、増やさないようにすることがコストの面からもより大事である。</p>	<p>まちづくりに資する無電柱化を計画的かつ効率的に推進する必要があることから、道路の新設・改築や開発行為と合わせた無電柱化も大切であると認識していますが、新設電柱の抑制については、まずは緊急輸送道路における新設電柱の占用制限措置を検討してまいりたいと考えております。</p>
17	<p>民間の住宅開発地などにおいて無電柱化を計画するなど、新設電柱の抑制などを明記すべき。</p>	
18	<p>関係者との連携において、具体的な組織の構成員などを明記した方がよい。また、構成メンバーとして NPO 法人などの無電柱化に関する専門家を入れることをお勧めする。</p>	<p>今後、具体の無電柱化事業の実施箇所において、必要に応じて電線管理者や地元関係者等からなる検討組織を活用するなど関係者の連携を図ることとしており、構成メンバーを検討する際の参考とさせていただきます。</p>
19	<p>電線共同溝方式による無電柱化を行った道路において、バス停留所のすぐ近くにトランスなどの茶色のボックスが路上に数多く設置されている。バス停留所をはずして設置することも可能と思われる。バス停についても考慮してほしい。</p>	<p>トランス等の地上機器を道路に設置する場合は、関係者と調整を図ってまいります。</p>